

事業報告

(平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日まで)

(ア) 事業概要

この法人は、人物、学力共に優れた学生であって経済的理由により中学校、高等学校（高等専門学校を含む）、専門学校、大学での修学が困難である者に対して、教育奨学金の助成を通じた青少年育成に関する事業等を行い、もって我が国の教育の振興を図り、青少年の育成を通じた豊かな社会の形成全般に寄与することを目的とする。

(イ) 事業の状況

【奨学金給付】 奨学生への奨学金の支給／課題図書配布。

8 名の奨学生へ奨学金を支給／課題図書を配布。

第 2 期生 5 名（三重県立四日市高校：男 2 名／女 3 名）に 6 か月分支給

第 3 期生 3 名（三重県立四日市高校：男 1 名／女 2 名）に 12 か月分支給

第 4 期生 4 名（三重県立四日市高校：男 2 名／女 2 名）に 3 か月分支給

1 人月額 20 千円奨学金を支給。

【課題図書】 図書の支給

下記の課題図書の配布と課題の実施。

◆第 2 期生

(2016 年 10 月) 新訂 孫子 (岩波文庫) : 金谷治 翻訳

(2016 年 11 月) スティーブ・ジョブズ最後の言葉 : 国際文化研究室・編 (著)

(2016 年 12 月) 受験前のためお守り配布

(2017 年 1 月) 人生計画の立て方 : 本多静六(著)

(2017 年 2 月) 受験前のため 10 年後の自分への手紙を課題

(2017年3月) 事業発展計画書 (ヤマダイ食品株式会社のもの)

◆第3期生

(2016年10月) 人生心得帖 : 松下幸之助(著)

(2016年11月) いま、会いにゆきます : 市川拓司(著)

(2016年12月) 学問のすすめ : 福澤諭吉(著)

(2017年1月) 10代にしておきたい17のこと : 本田健 (著)

(2017年2月) 新訳 原因と結果の法則 : ジェームズ・アレン (著)

(2017年3月) 事業発展計画書 (ヤマダイ食品株式会社のもの)

(2017年4月) ハーバードでいちばん人気の国・日本 : 佐藤智恵 (著)

(2017年5月) 対談集日本人への遺言 : 司馬遼太郎(著)

(2017年6月) 修養 : 新渡戸稲造(著)前半

(2017年7月) 修養 : 新渡戸稲造(著)後半

(2017年8月) 日本はこうして世界から信用される国となった : 佐藤芳直(著)

(2017年9月) プリンシパルのない日本 : 白洲次郎 (著)

◆第4期生

(2017年7月) 日本はこうして世界から信用される国となった : 佐藤芳直(著)

(2017年8月) プリンシパルのない日本 : 白洲次郎 (著)

(2017年9月) 自助論 : サミュエル・スマイルズ (著)

貸借対照表

平成29年 9月30日現在

公益財団法人モカ育志奨学基金

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	90,797	3,762	87,035
流動資産合計	90,797	3,762	87,035
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投 資 有 価 証 券	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
奨 学 資 金 準 備 金	508,520	108,520	400,000
特定資産合計	508,520	108,520	400,000
固定資産合計	3,508,520	3,108,520	400,000
資産合計	3,599,317	3,112,282	487,035
II 負債の部			
1. 流動負債			
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄 付 金	3,508,520	3,108,520	400,000
指定正味財産合計	3,508,520	3,108,520	400,000
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(508,520)	(108,520)	(400,000)
2. 一般正味財産	90,797	3,762	87,035
正味財産合計	3,599,317	3,112,282	487,035
負債及び正味財産合計	3,599,317	3,112,282	487,035

正味財産増減計算書

平成28年10月 1日から平成29年 9月30日まで

公益財団法人モカ育志奨学基金

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 寄 付 金	[1,669,370]	[1,491,622]	[177,748]
受 取 寄 付 金	1,669,370	1,491,622	177,748
雑 収 益	[1]	[34]	[△ 33]
受 取 利 息	1	34	△ 33
経常収益計	1,669,371	1,491,656	177,715
(2) 経常費用			
事 業 費	[1,555,889]	[1,522,618]	[33,271]
課 題 図 書 購 入 費	44,441	60,876	△ 16,435
支 払 奨 学 金	1,480,000	1,440,000	40,000
旅 費 交 通 費	0	2,710	△ 2,710
消 耗 品 費	0	108	△ 108
支 払 手 数 料 費	648	324	324
雑 費	30,800	18,600	12,200
管 理 費	[26,447]	[25,950]	[497]
消 耗 品 費	1,339	0	1,339
支 払 手 数 料	108	950	△ 842
租 税 公 課	25,000	25,000	0
経常費用計	1,582,336	1,548,568	33,768
評価損益等調整前当期経常増減額	87,035	△ 56,912	143,947
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	87,035	△ 56,912	143,947
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
指 定 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	[0]	[30,996]	[△ 30,996]
特 定 資 産 奨 学 資 金 準 備 金 を 事 業 費 に 充 当	0	30,996	△ 30,996
経常外収益計	0	30,996	△ 30,996
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	30,996	△ 30,996
当期一般正味財産増減額	87,035	△ 25,916	112,951
一般正味財産期首残高	3,762	29,678	△ 25,916
一般正味財産期末残高	90,797	3,762	87,035
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	[400,000]	[0]	[400,000]
受 取 寄 付 金	400,000	0	400,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[0]	[△ 30,996]	[30,996]
特 定 資 産 奨 学 資 金 準 備 金 を 事 業 費 へ 取 崩	0	△ 30,996	30,996
当期指定正味財産増減額	400,000	△ 30,996	430,996
指定正味財産期首残高	3,108,520	3,139,516	△ 30,996
指定正味財産期末残高	3,508,520	3,108,520	400,000
III 正味財産期末残高	3,599,317	3,112,282	487,035

財産目録

平成29年 9月30日現在

公益財団法人モカ育志奨学基金

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管 普通預金 百五銀行・富田支店	運転資金として	88,540	
	預金			2,257	
				2,257	
流動資産合計				90,797	
(固定資産)	基本財産	ヤマダイ食品(株) 株式 6000株	財団法人の基本財産充当のため	3,000,000	
				投資有価証券 投資有価証券(指定)	3,000,000
	特定資産			奨学資金準備金	508,520
				奨学資金準備基金(指定)	508,520
固定資産合計				3,508,520	
資産合計				3,599,317	
正味財産				3,599,317	

財務諸表に関する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
該当なし。

2. 重要な会計方針
「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 改正平成21年10月16日
内閣府公益認定等委員会）を採用している。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
(ヤマダイ食品株式会社株式)
売買目的でなく、基本財産として所有しているため取得金額で計上している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし
- (3) 固定資産の減価償却の方法
該当なし
- (4) 引当金の計上基準
該当なし
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更
該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	0	0	0	0
建物	0	0	0	0
定期預金	0	0	0	0
投資有価証券	3,000,000	0	0	3,000,000
減価償却引当資産	0	0	0	0
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	0	0	0	0
減価償却引当資産	0	0	0	0
積立預備基金	108,520	400,000	0	508,520
小 計	108,520	400,000	0	508,520
合 計	3,108,520	400,000	0	3,508,520

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土地	0	0	0	0
建物	0	0	0	0
定期預金	0	0	0	0
投資有価証券	3,000,000	3,000,000	0	0
減価償却引当資産	0	0	0	0
小 計	3,000,000	3,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	0	0	0	0
減価償却引当資産	0	0	0	0
積立預備基金	508,520	508,520	0	0
小 計	508,520	508,520	0	0
合 計	3,508,520	3,508,520	0	0

6. 担保に供している資産
該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
(直接法により減価償却を行っている場合)
該当なし。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)
該当なし。

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務
該当なし。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし。

財務諸表に関する注記

- 1 1. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当なし。
- 1 2. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当なし
- 1 3. 関連当事者との取引の内容
該当なし。
- 1 4. 重要な後発事象
該当なし。